

アトリエ授業報告書

日にち 2017年4月8日 生徒人数 9名

1. 授業内容

-授業の鐘（先生が準備してくれた）とともに授業がはじまりました。

-宿題の自己紹介の紙を使い、円になってひとりずつ発表しました。ちいさな声でしたがみんなゆっくり時間をかけて発表できていました。

-先生から花火バイダー、授業の流れ、お約束、宿題の説明などのお話がありました。

-再度みんなで円になって、なんでもバスケット(フルーツバスケット)を行いました。宿題で使った紙の応用編で（赤色が好きな人？寿司が好きな人？など）全員が動く“なんでもバスケット”は大人気でした。

-ひらがなレース 赤と青のチームに分かれてひらがなが何個正確に書けるかを競いあいました。

黒板に枠を書き、子供たちは、はなびバイダー(ひらがな表)をもってひらがなを確認して、チョーク（ピンクと青）たすきにしてひとりずつ、前の黒板に出て、分かるひらがなを書いていきました。(穴埋め方式書くときはバイダーはなし)

2. 授業理解度(悪 1. 2. 3. 4. 良)

3 良いと感じた点

円になっての発表は生徒一人ひとりが時間を使って、みんなの話を聞き、自分もちゃんと話せるので良いなと思いました。通常の椅子に座って行う授業ではなく、動きがたくさんあり、楽しんで勉強ができ、ひらがなレースでは、ひらがなを覚えるというプレッシャーというよりも、ゲーム感覚で覚えることができいいアイデアだなと思いました。

授業のチャイムやレース時に使用した音楽など、音で場が盛り上がっていたと思います。

4. 課題

アシスタントは2時間1名でもいいかなと思います。

初日だったので、宿題のチェックなどは行ってないので、次回の方のレポートを参考要です。

発言が非常に少ないので、単語での発言を増やしてあげるといいのかなとも思いました。

自己評価にある話す書く読むとあります。円陣で話す、来週からのデイクテで書くはカバーされますが、読む(今回は宿題の発表で読みました。)毎回どのような形になるのか気になるところです。

日にち 4月15日 生徒人数 10人

1.授業内容

- 1) あいさつ
- 2) 宿題回収
- 3) 漢字 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

数人はスラスラ見ずに書けるレベル、大半の生徒は五～十が少しあやしい感じ。

最後に穴埋めで黒板に数字（漢字）を書くゲームがあったのですが、みんなよく手を挙げて積極的にやってみようという態度が見られてよかったです。

- 4) ディクテ

ほぼ全員が自宅でしっかり練習してきたのがわかる取り組みの様子でした。◎

書く早さの違いが生徒によってかなり異なるので、早く終わってしまった子には、何か他にあるといいなと思いました。（例：次回のディクテの紙を渡して自主勉強、自分のワークを進める、追加でプリントなど）

- 5) 算数プリント

よくできていました。（休憩前でバタバタしたのと、子どもたちが疲れ気味だったので後半に回しても良かったかな。）

—休憩—

- 6) 自己紹介カードを使って、ペアでお友達を紹介。

発表が苦手な子には少し難しかったようですが、先生が優しくサポートしてくれました。

- 7) イースターホリデーにしたこと、すること
- 8) ひらがなレース

みんな楽しんでやっていました。

2.授業理解度(悪 1.2.3. 4. 良)

3 良いと感じた点

-先生のポジティブで優しい指導が有り難いです。

-ディクテを漢字でかけている子も数人いたので、個人のレベルによって、漢字でもひらがなでもいい、というのはいいと思いました。

- 保護者がボランティアに入ることで自分の子どもがクラスでどのように発言し、取り組んでいるかがわかり、家庭学習にも生かせるのでよいと思います。

4.問題点

後半になると集中力が欠けてだらけている様子も見受けられたので、体を動かす活動（ひらがなレースやゲームなど）を後半の最初に入れたら体も頭もリフレッシュできていいかな。

5.課題（次回へのアドバイス）

- ボランティアは赤ペン持参で、活動時に生徒のノートに丸つけたり、時間があるときに宿題のチェックをしてください。
- 生徒を飽きさせないように、どのような活動を取り入れていくかが今後の課題

日にち 4月22日(土) 生徒人数 8人

1.授業内容

(1)挨拶

(2)宿題回収

(3)出席確認

(4)漢字の練習一月、火、水、木、金、土、日

-ノートにそれぞれ漢字を練習。書き順はそれぞれ違うことが多かったですが、ほとんどの生徒が黒板を見たりして、きちんと書けていたと思います。

(5)デイクテーション

-「今日」「明日」「あさって」「きのう」の意味がよく理解できていました。

-よくできている生徒と、復習が必要な生徒が混在していると思いました。ただ、差はあるにせよ、反復練習の大切さを感じました。

(6)休憩

(7)宿題(ドラえもん)

-デイクテーションの時には静かだった生徒が、とても活発になり発言しようとする姿勢が見れたのが良かったです。ビジュアルを使った効果だと思います。

この後、ドラえもんのエピソードである夏祭りをテーマに、実際に金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げをしましたが、子供達が輝いていました。とても楽しかったようです。

楽しさのあまり、生徒同士の会話が日本語ではなくなったのですが、後半の少しくらいいいかな、と思いました。

2.授業理解度(悪 1.2.3.4. 良)

-4

3 良いと感じた点

- ドラえもんのような、漫画を取り入れたのは生徒の興味を引いて効果的だと思いました。生徒のやる気が感じられました。
- 先生の、楽しいクラスにしようとの思いが感じられ、有り難く思いました。

4.問題点

- アトリエクラスの中でも、生徒間のレベルの違いを感じました。差が広がらないよう、センターでも、ご家庭でも支援することが不可欠だと思いました。

5.課題

- 生徒達の興味とやる気を持続させる授業、アクティビティを行う。

Assistant report

Date : 29/04/2017 (Sat)

Number of Students : 9

I would like to point out that I cannot write Japanese.

I was an assistant almost 20 years ago for about 2 years with the Japanese centre and I was with little kids so I know how hard it is to get kids to concentrate, I applaud Mr. Kento for his hard work and dedication to his students .

A) Class content

1- Greetings

2- Gathering homework

3- Attendance

4- Kanji practice Red, Blue, Yellow, Green, White

5- Dictation

The children had to study 4 different phrases concerning emotions and the teacher chose 2 for the dictation

I found that some of the children had difficulties with long dictation. The rest that had no issues were able to do more than 2 phases.

6- 5 min break

7- Homework (comprehension The turtle and the hare)

The children were asked to read the text but they were not very enthusiastic about it. Most students were unable to follow and were unable to read without the help of the teacher.

B) General Comprehension

On a scale from 1 to 5 1= bad / 5= good

3

C) Positive points

1- I think the teacher puts lots of effort in teaching his class

2- He tries very hard to keep his students interested

3- He has lots of great ideas

4- He has lots of energy

5- hiragana race was very fun and educational for the kids

6- the dictation is great with the option to put the kanji that you already know

D) Negative point

I think it's great to do a few kanji at the same time but it would be even better to slow it down. I noticed that most kids could not follow the teacher they could not write the kanji in the proper order

E) Opinion

I think the teacher should choose 2 kanji and concentrate on them
For example: take a kanji and go over the right way of writing it and making sure they can follow and for those who may already know how to do them, give them extra ones to do for extra points



By now the teacher should have a good idea of students capabilities
And adjust accordingly

I also think it would be a good idea to have a permanent assistant teacher to help in this class. This way the teacher and the assistant can work together and help each other out. I feel that if you keep changing the assistant every week it is not very productive for the good of the class since they may not know where to step in unless the teacher stops his class to explain each time what needs to be done and that takes time away from his goal of making sure his students are following and learning.

For example:

- If he is giving kanji lesson the assistant can go over each student and help out who ever is having difficulties but also if he or she sees that some students are more advanced then without disrupting the classroom He or she can give the extra work for extra points and keep track of each students progress.
- If doing comprehension and or reading the assistant can help out and follow with the students also and this will help alleviate the teachers work load on a regular basis.
- Maybe divide the first hour. 30min reading and next 30min kanji lesson
Then the 2nd hour 30 min compression (questions and answers on a theme) and the last half hour doing an educational game